

らいぶらいいにゅーす2018

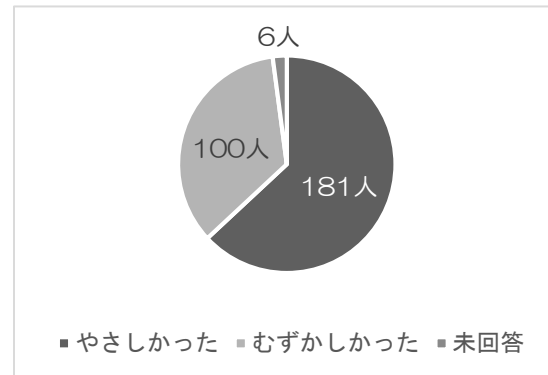
～ 教職員版

◎ 脱「不読者」(1か月間で読んだ本が0冊の人)を目指して…

高体連期間中に「読書の時間」を設け、生徒には本の一部分を読んでもいただきました。監督の先生方もアンケートにご協力いただきありがとうございます。結果を見ても、大半の生徒が「(読書の時間中に読んだ本が)おもしろかった」と答えおり喜ばしい反面、まだまだ「不読者」は多く、今後どのようにして解消していくかが課題となりそうです。以下、生徒を対象に実施した読書アンケートの結果です。

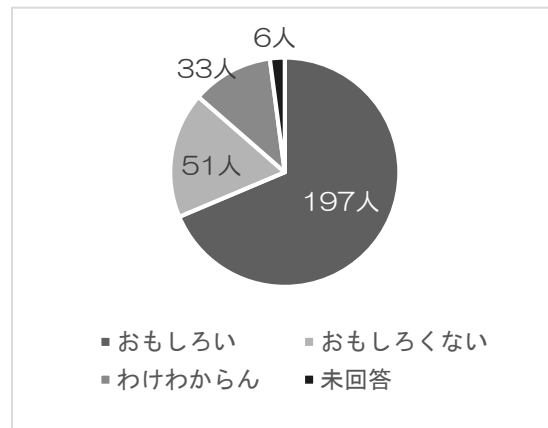
Q1. この話は…

2、3年生ではそれぞれ「やさしかった」が7割近くを占めていたのですが、1年生はその割合が五分五分でしたのでこのような結果に。1年生が書いた感想文を読んでも「わからなかった」と書いている生徒が多かったので、読書に慣れていない子が多いのかなという印象です。



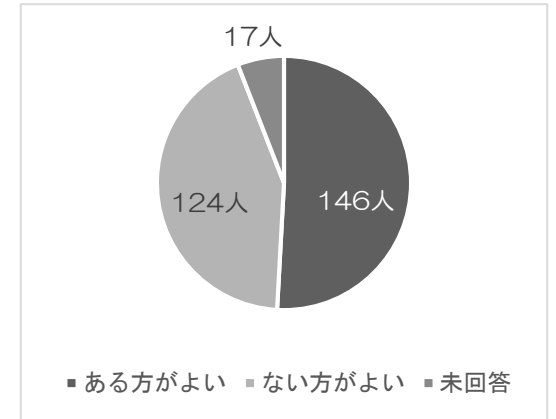
Q2. この話は…

3学年全てで「おもしろい」と答えた生徒が7割近くいるという喜ばしい結果です。「むずかしかった」と一つ前の設問で解答した生徒も、この設問では「おもしろかった」と回答する等、読書を楽しんでくれた生徒は多かったようです。

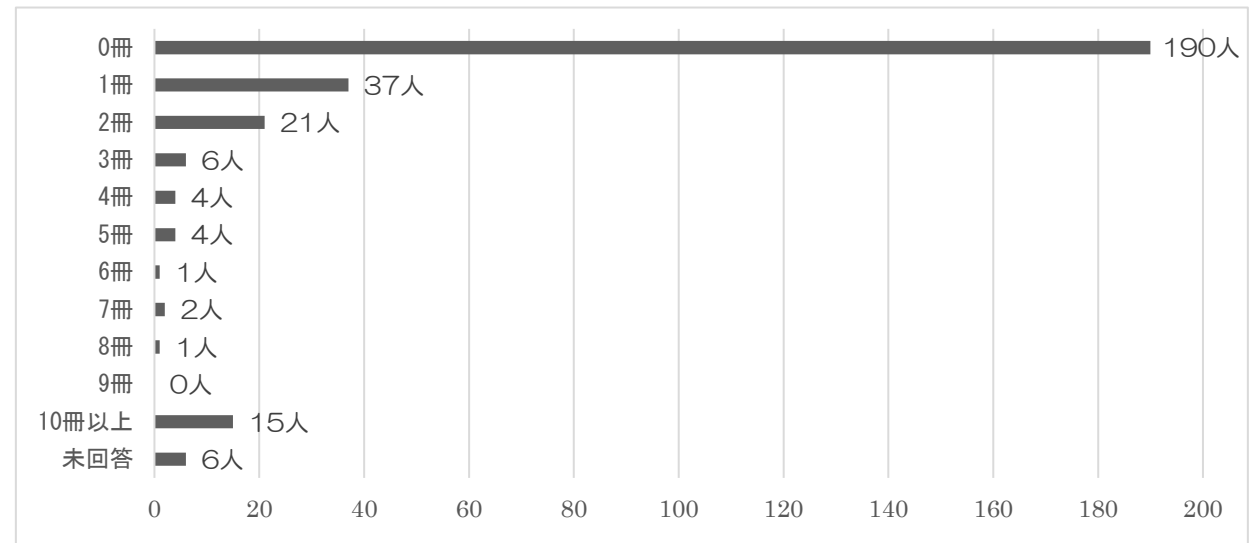


Q3. これからも「読書の時間」が…

若干数ではありますが「ある方がよい」と答える生徒の方が多いという結果に。ある学年では、ある方がよい:ない方がよい=32人:33人であり見事に半々に分かれることも。中には「自由読書であれば」という条件付きで「ある方がよい」に○をつける生徒もあり、読書に対する意欲が強く感じられました。



Q4. 五月一か月の間に何冊本を読みましたか？



やはり0冊と答えた生徒の数が圧倒的に多かったです。ですが、月に1冊以上本を読むと答えた生徒も0ではないので、本を読む生徒のニーズに沿った選書を心がけつつ、普段本を読まない生徒にも興味を持ってもらえそうな本も受け入れていこうかなと考えております。そのためにも積極的に図書館からの情報発信や活動を行っていく次第です。

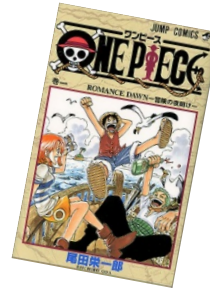
ここまで選択形式の問題の集計結果をまとめたものでした。裏面では、記述式の部分のアンケート結果や、読書課題として課された本を読んだ生徒の感想等をまとめたので一部ご紹介します →



Q5. 今まで読んだ中で印象に残っている本は？

1位 「ONE PIECE」…14名

各学年5名ずつほど、こう解答する生徒がいました。連載開始から約20年が経った今も連載が続いており、『こちら葛飾区亀有公園前派出所』に次ぐ長期連載となっているこの作品は、まだまだ根強く人気なようです。



2位…「黒子のバスケ」「スラムダンク」「ダイヤのA」「NARUTO」「ハリーポッターシリーズ」…各3名



スポーツ漫画や少年漫画、そして世界的大ヒットを記録したファンタジー小説が同率2位でした。「スラムダンク」は「野洲スタイル」を読んでいた1年生で挙げられていました。マンガを読んだことのある生徒が「野洲スタイル」を読んで思い出したのでしょうか？

※尚、長らく複数巻が行方不明であった「スラムダンク」が完全版にて全巻取り揃えられましたので、またお時間がありましたら是非読みに来てください。

その他…マンガや絵本、小説など様々な作品が挙げられました

マンガ：「MAJOR」「orange」「あさひなく」「キャプテン翼」など

小説：「君の膵臓を食べたい」「人間失格」「112日間のママ」など

絵本：「はらぺこあおむし」「ぐりとぐら」「バムとケロ」「ぼちぼちいこか」など



《1年：野洲スタイル》

私が野洲スタイルを読んで思ったことは自分が一生懸命やりたかったことはとことんやって、中途半ばな気持ちでやらないことが大事なんだと思いました。自分がやれることは面倒がらずにやることを心がけたいと思います。私はダンスをやっているのですが、一番目立ちたいとかかっこよくおどりたいと思っています。そのために誰よりもたくさん練習して先頭に立ちたいと思いました。

最初はやる気がでなかつたりする事もあるけれど、人間は誰でも知らなかった事を見たり、聞いたりで、どんどん可能性を広げていくと知って、何に対しても一生懸命頑張らないといけません。

嫌な事や、きれいな食べ物もまとめて全部食べているといずれは全て自分の力に変えられるようになって、失敗も苦い経験もすべて、糧にできるようになるのは、とてもすごいと思いました。

《2年：ディズニーランドであった心温まる物語》

私が一番心に残った話は、コンタクトをおとした女の人にキャストがコンタクトを探してくれたという話です。キャストの心くばりに感動しました。こまった時に助けてくれたら人はすごくうれしい気持ちになるし、「ありがとう」というやさしい気持ちになれる。特に感動したことは、キャストではない周りの人も一緒になってコンタクトを探してくれたことです。人がやさしくすると、周りの人もやさしくなれるのだと感じました。だから私も電車にのっている時にお年よりの人がいたら席をゆずってあげたり、こまった人がいたら声をかけてみようと思いました。小さな気づかいや優しさで人は温かくなれるし、自分もやさしい気持ちになれるのだと思いました。

清掃をするために、たくさんの従業員が真夜中まで残っていると知って驚きました。「すべてはゲストのために！」と迷いなく答えられるディズニーの人達はすごいと思います。

私もディズニーには行った事がありますが、本当に夢の国で園内もキレイで、みんな親切で「また、来たい。」そう思える場所でした。赤ちゃんの事まで考えて清掃などをするディズニーの人達は本当に尊敬します。

ディズニーが本当に素晴らしい所なんだと改めて感じました。

《3年：日本一心を揺るがす新聞の社説》

私の心に残った作品は、「心を込めて『いただきます』『ごちそうさま』を」です。

昔から一緒のみいちゃんを殺さないでほしかったという気持ちがありました。みいちゃんを殺した時の扉も、牛は扉が出ることを初めて知りました。

自分たちが今まであたりまえに食べたりしてきた物にはすべて命があることを改めて知ることができた良い作品だと思いました。

私が気になった話は、心を込めて「いただきます」「ごちそうさま」をです。

「牛を殺すとき、牛と目が合う」というところで牛も人間と同じで一生懸命に生きているし、死にたくないと思っているはず。

私たち人間は、肉は、おいしいと平気で言っていますが、牛の命をいただいているのだから当然だと思います。他の食べ物でも残さず食べるのが正しい事です。これから食べる肉や野菜などの食べ物に「いただきます」「ごちそうさま」の言葉をなげかけることが大切です。

《お知らせ》

「らいぶらりいにゅーす 2018」という名前で図書館だよりは毎月発行しています。事務室に近い方の出入り口近くのホワイトボードに貼ってあります。新しく入ってきた本の紹介などもそちらで行っておりますのでご覧になってみてください。

リクエストも随時受け付けております。口頭・用紙どちらでも構いません。

